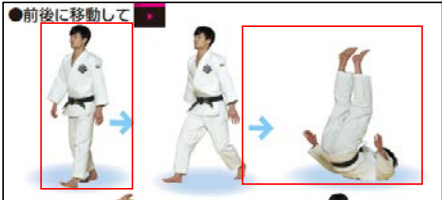





「アクティブ 新中学校体育実技」 訂正表

現在供給しております弊社発行の「アクティブ 新中学校体育実技」において、下記の通りルール改正等による訂正がございました。
現在の供給本でのご指導におきましては、以下の訂正情報にご配慮くださいますようお願い申し上げます。

修正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
32	自分の体重を使って	<p>スクワットしてジャンプする。 前や横に一步踏み出して腰を落とす。 ジャンプして脚を入れ替える。</p> <p>スクワット スクワットジャンプ ランジ スプリットジャンプ</p> <p>脚 でんぶ 臀部 サイドランジ</p>	<p>スクワットしてジャンプする。 前や横に一步踏み出して腰を落とす。 ジャンプして脚を入れ替える。</p> <p>●スクワット ●スクワットジャンプ ●ランジ ●スプリットジャンプ</p> <p>脚 でんぶ 臀部 ●サイドランジ</p>
75	中段	段ちが平行棒	段違い平行棒
83	やってみる1	<p>●リレーオーダー（走順）によってタイムが変わる理由</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 走る距離が違う。 2. 直走路を走る走者と曲走路を走る走者がいる。 3. 第2走者と第3走者が「バトンをもらって渡す」、第1走者は渡すだけ、第4走者はもらうだけ。 4. 第1走者にだけ、スタートがある。 <p>例えば……</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートが上手 …………… 第1走者 ・100mのタイムが最も速く、バトンを渡すことももらうことも得意 …………… 第2走者 ・曲線路を走るのが得意 …………… 第3走者 ・100mタイムが速いが、バトンを渡すのが苦手… 第4走者 	<p>●リレーオーダー（走順）によってタイムが変わる理由</p> <p>400mトラックで走る場合</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 走る距離が違う。 2. 直走路を走る走者と曲走路を走る走者がいる。 3. 第2走者と第3走者が「バトンをもらって渡す」、第1走者は渡すだけ、第4走者はもらうだけ。 4. 第1走者にだけ、スタートがある。 <p>例えば……</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタートが上手 …………… 第1走者 ・100mのタイムが最も速く、バトンを渡すことももらうことも得意 …………… 第2走者 ・曲線路を走るのが得意 …………… 第3走者 ・100mタイムが速いが、バトンを渡すのが苦手… 第4走者
96	やってみる1	●7歩助走の踏み切り板高跳び	●7歩助走の踏み切り板高跳び (動画マーク追加)
97	練習	背面跳び	背面跳び (動画マーク追加)
99	4行目	ハンドボール2号(外周54～56cm, 重さ325～400g), 巻き尺	・ハンドボール2号(削除) ・巻き尺
101	表組 (短距離・リレー●リレーのルール)	②バトンを渡し終えた走者が、故意に他の	②バトンを渡し終えた走者が、(削除)他の
106	やってみる1	蹴伸びで進む。	蹴伸びで進む。 (動画マーク追加)

修正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
120	22行目	今日では球技は、オリンピック大会でも全33競技中11競技を占めるように(東京2020大会)主要な競技	今日では、球技はオリンピック大会でも(削除)主要な競技
123	囲み内	ハンドボール 17.5cm 350g バスケットボール 23.3m 540g	ハンドボール 17.5cm 325g バスケットボール 24.5m 600g
138	表組 (5秒ルール)	近接してディフェンスされた	近接してガードされた
169	表組 (2B)	手から離すのを / 手から離して / 手から離すまで	手から放す / 手から放して / 手から放すまで
169	表組 (6)	ボールをペナルティーマーク上に置いて蹴る。	ボールの一部がペナルティーマークの中心に触れるか、かかっている状態で蹴る。
187	図(ボール)	セルロイド、またはセルロイドと性質の似ているプラスチック製で、白色またはオレンジ色で光沢のないもの。	(削除)プラスチック製で、白色またはオレンジ色で光沢のないもの。
191	下段	■フットワーク	■フットワーク (動画マーク追加)
233	練習	●ノックによる守備・攻撃の練習	●ノックによる守備・攻撃の練習 (動画マーク追加)
245	●前後に移動して		
246	アドバイス	受到配慮をした安全な練習方法	受到配慮をした安全な練習方法 (動画マーク追加)
253	下段	<p>●中学生の試合に加える主な禁止事項</p> <p>〈指導〉</p> <p>* 両膝を最初から同時に畳について背負い投げなどを施すこと。</p> <p>〈反則負け〉</p> <p>* 両袖を持って投げ技を施すこと。</p> <p>* 次の技をかけること。</p> <p>〔指導：無理な巻き込み技、相手の首を抱えての大外刈りや払い腰、関節技や絞め技、反則負け：関節を極める、逆背負い投げなど〕</p> 	<p>●中学生の試合に加える主な禁止事項</p> <p>〈指導〉</p> <p>* 両膝を最初から同時に畳について背負い投げなどを施すこと。</p> <p>* 両袖を持って投げ技を施すこと。</p> <p>* 次の技をかけること。(無理な巻き込み技、相手の首を抱えての大外刈りや払い腰、関節技や絞め技、逆背負い投げなど)</p> <p>〈反則負け〉</p> <p>* 故意に、相手の関節を極めること。</p> 
261	やってみる2	■二段の技～	■二段の技～ (動画マーク追加)
262	やってみる1	つばぜり合い	つばぜり合い (動画マーク追加)
275	上段	構えて、手を着いて 待ったなし。	構えて。両手を同時に着いて 引きますよ。

修正箇所		原文	訂正文
ページ	行		
278	最終行	技術面と競技面から見取った点数を合計する採点方式で行われる。	(削除)採点する方式で行われる。
339	12～32行目	<p>ゲームのしかたと主なルール</p> <p>フラッグフットボールは、<u>ゴールラインの中央からスナップ</u>をしてスタートし、走ったり前や後ろにいる味方にパスをしたりしながら、相手側のエンドゾーンにボールを運ぶ（タッチダウン）と得点になる。1回のタッチダウンで1点。</p> <p>ボールを持っているプレーヤーがディフェンス側にフラッグを取られたりボールを落したりしたら1回の攻撃は終了。次の攻撃は進んだところのセンターライン上から開始する。オフェンス側は連続4回の攻撃で前進しながらタッチダウンをねらう。タッチダウンをしたらオフェンスとディフェンスを交代する。また、4回の攻撃でタッチダウンできなかったときや、ディフェンス側がパスを横取りしたときもオフェンスとディフェンスを交代する。</p> <p>勝敗の鍵はチームワークと作戦で、チームであらかじめ話し合って個人個人の動き方などを決めておき、<u>試合の途中でハドル（作戦タイム）を取り</u>、チームで協力してボールを運んだり相手の前進を防いだりする。</p> <p>1チームは5人で、試合時間はハドルを含めて前半10分、後半10分。前半と後半で陣地を交代。</p> <p>★スナップ ボールを持っているプレーヤーが足と足の間を通して後ろにいるプレーヤーにボールを手渡しするか、投げて渡すこと。</p>	<p>ゲームのしかたと主なルール</p> <p>フラッグフットボールは、<u>オフェンス側がボールをスナップ</u>してスタートし、走ったり前や後ろにいる味方にパスをしたりしながら、相手側のエンドゾーンにボールを運ぶか<u>味方が相手側のエンドゾーンでパスをキャッチする</u>（タッチダウン）と得点になる。1回のタッチダウンで6点。</p> <p>ボールを持っているプレーヤーがディフェンス側にフラッグを取られたりボールを落したりしたら1回の攻撃は終了。オフェンス側は連続4回の攻撃で前進しながらタッチダウンをねらう。タッチダウンをしたらオフェンスとディフェンスを交代する。また、4回の攻撃でボールがミドルラインを越えなかったり、タッチダウンできなかったりしたときや、ディフェンス側がパスを横取りしたときもオフェンスとディフェンスを交代する。</p> <p>勝敗の鍵はチームワークと作戦で、チームであらかじめ話し合って個人個人の動き方などを決めておき、<u>チームで協力してボールを運んだり相手の前進を防いだりする</u>。</p> <p>1チームは5人で、試合時間は前半20分、後半20分。間に2分間のハーフタイムを挟む。前半と後半で陣地を交代。</p> <p>★スナップ ボールを持っているプレーヤーが地面から後方へ向けてすばやくボールを手渡しまたはパスすること。</p>
339	図	<p>●フィールド</p>	<p>●フィールド</p>
340	6行目	ラクロスは、 <u>アメリカインディアン</u> の	ラクロスは、 <u>北米の先住民</u> 族の
340	9行目	<u>クリスチャン</u> の僧のつえ	僧侶のつえ
340	2行目	1チーム <u>5～7</u> 人	1チーム(削除)7人
340	下から4行目	10カウント(<u>ストール</u> カウント)以内に誰かにパスをしなければならない。	10カウント(<u>移動</u>)以内に誰かにパスをしなければならない(<u>ストール</u> カウント)。
342	17行目	<u>21</u> 点。20対20のときは「 <u>2</u> 点差をつける」か「 <u>25</u> 点」になったとき、	<u>15</u> 点。14対14のときは、 <u>17</u> 点目に到達した <u>レグ</u> が
342	30行目	連続 <u>3</u> 本	<u>1</u> 本